

# にかほ市長 横山 忠長

あけましておめでとうございます。  
市民の皆様には、ご健勝にて初春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

昨年は、爆弾低気圧や竜巻とみられる突風被害などの自然災害に加え、住宅火災や山菜取り遭難が相次ぐなど人命にかかわる事故の多い1年でありました。また、欧州の金融危機や歴史的な円高を背景に、市内主力企業の再編問題などで、大量の離職者が出るなど、「雇用環境が一気に悪化し、市民に大きな不安を与える年でもありました。」

本市が今日まで、日々進展を続けることができたのは、先人の懸命なご努力の賜物であり、また日々の探究心と熱意があつてのもので、このことは市民の間に今なお生き続けているものと思っております。

本年は、にかほ市が誕生して8年目を迎えます。干支である「巳」は、動物の蛇に例えられ、脱皮が再生を連想させ、神の使いであるとも言われております。大震災からの復興、新たな雇用環境の創出など、市民の英知を結集して、探究心と情熱をもって山積する課題解決に取り組み、にかほ市再生元年にしたいと決意を新たにしているところであります。

今後も、産業振興や福祉の充実を図り、市民の皆様が安心して暮らせる「住みたいまち 住んでいたいまち にかほ」を目指すとともに、選抜と集中による各種の施策を展開して参りますので、引き続き市政に対し力強いご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新しい年が皆様にとりまして、災害のない幸せに満ちた年となるよう、心からご祈念申し上げます。新春のごあいさつといたします。

# にかほ市議会議長 佐藤 文昭

あけましておめでとうございます。

輝かしい新年を迎えられました皆様からお慶び申し上げます。

にかほ市議会では、議会基本条例の主旨のもとに、市民に積極的に情報公開を行い、市民に開かれた議会を実現するため、昨年の1月と7月に議会報告会を開催しました。

文字通り市民と向かい合いながら、議会報告会を目に見える形で実施したことは大変意義深いことと思えます。また、各常任委員会では市内の各種団体との交流会を実施して、各分野の様々な課題について意見交換も行ってきました。皆様からいただいたご意見を議会運営に反映して、市民とのつながりを構築しながら、条例の目的とする「情報の公開」、「透明性」、「説明責任」を果たすよう努めてまいります。

また、議会報告会では、市民から雇用確保の要望が多く提案され、9月議会において、企業の生産拠点再編に伴う雇用不安に対して議会が積極的に取り組むことを決議し、12月議会では、雇用対策と市経済の活性化を図るために雇用対策調査特別委員会を設置しました。雇用の創出を市政の最優先課題と捉え、市当局と互いに知恵を出し合いながら進めていきます。

地方分権という時代の潮流を踏まえ、活発な議論を通じて議会審議の二層の活性化に取り組み、議決機関としての市議会の責務を着実に果たしてまいります。更に、東日本大震災を教訓として、危機意識の高揚を図り、市民が安全で安心して暮らせるまちづくりを目指してまいります。

本年が災害のない穏やかな年でありますように、そして皆様にとって飛躍の年となりますことを心からご祈念申し上げます。

謹んで  
新年の  
ごあいさつを  
申し上げます

謹んで  
新年の  
ごあいさつを  
申し上げます